

2022 年度決算の概要

学校法人高千穂学園の 2022 年度決算は、学園監事の監査を受け、5 月 23 日の理事会・評議員会において、確定いたしました。

事業活動収支計算書により 2022 年度と 2021 年度を比較して本学の経営状態を説明いたします。

収入のうち、学生生徒等納付金は、学生数・園児数の減少により 1 億 3 千万円減の 24 億 7 千万円となり、手数料は受験者数の減少により 1 千 2 百万円減の 4 千 6 百万円となりました。経常費等補助金は、国や東京都・杉並区等からのものであり、施設設備に関する補助金、修学支援制度に基づく授業料等減免交付金を含み 3 億 4 千 9 百万円となりました。また雑収入につきましては、退職財団交付金や課外講座受講料が増加し 6 千 3 百万円となりました。

これらの収入の合計である事業活動収入計は 2021 年度と比較するとやや減少の 29 億 5 千 8 百万円となりました。

支出の内、人件費は、8 千 9 百万円増の 14 億 5 千 4 百万円、教育研究経費は 1 千 8 百万円減の 9 億 1 千 3 百万円、管理経費は 2 千万円減の 1 億 9 千 7 百万円となりました。人件費の増加は退職給与引当金繰り入れによるものです。

借入金等利息は 2015 年度～2017 年度に完成した校舎（1 号館・体育館）建設に係るものです。（2022 年度末借入金残高は 9 億 9 千 9 百万円）

これらの支出の合計である事業活動支出計は、9 千 3 百万円減の 25 億 2 千 3 百万円となりました。

学校法人が教育研究水準を維持・向上していくために事業活動収入の中から組み入れた基本金の額は 2 億 4 千 8 百万円となりました。

基本金組入前当年度収支差額は 9 千 5 百万円減の 3 億 8 千 3 百万円となり、基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額を差引いた結果、当年度収支差額は 1 億 3 千 4 百万円、当年度収支差額に前年度繰越収支差額を加算した翌年度繰越収支差額は 1 億 3 千 4 百万円増の 18 億 6 千 3 百万円となりました。